

食を愛そう、未来を愛そう。北九州と。



北九州市は、令和5年（2023年）2月に市制60周年を迎えました。これまで、日本の産業をけん引し、公害を経験しながらも環境先進都市として、物語を築いてきました。その背景には、北九州市民のつながりの中で育まれた、人情あふれる人のやさしさと熱さがあり、そこには、日々の活力の源である食と、それを支える北九州の魅力ある豊かな食材があったと思います。

令和6年度より新たな北九州市の基本構想・基本計画がスタートします。その目指す都市像である「つながりと情熱と技術で『一歩先の価値観』を体現するグローバル挑戦都市」に向かい、市民一人ひとりが様々な場面でその持てる力を最大限に発揮し、愛すべき未来へ歩みを進めるためには、「食」は、欠かすことができないものです。

しかしながら、「朝食の欠食」や「主食・主菜・副菜をそろえたバランスのよい食事がとれていない」「野菜の摂取不足」など、北九州市の健康づくりの主要な課題である肥満や高血圧の増加につながる課題が見えてきました。また、農業振興や環境保全など、食を支える環境を持続可能とする食育の推進もこれまで以上に求められています。

これらの現状と課題を踏まえ、本計画では、生涯の健康づくりを目指した「個人の健康の視点」と地産地消の推進や食品ロスの削減、食文化の継承などの「社会・環境・文化の視点」の両視点に「デジタル化の推進」の視点を加え、望ましい実践行動を具体化する8つの「目指す市民の姿」を設定し、市民、関係者が一体となって食育に取り組むこととしています。

「食べかたは、生きかただ。」をスローガンに「食」や「食に関わる人」への関心や理解を深め、健全な食生活を自身のもので獲得し、健康な心身と豊かな人間性を育み、生涯にわたっていきいきと暮らせる社会が実現できるよう、食育の推進に取り組んでまいります。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたりご尽力いただきました北九州市食育推進懇話会の皆様をはじめ、貴重な意見をお寄せいただきました市民、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

令和6年（2024年）3月

北九州市長 武内和久